

# 自立相談支援機関との連携

---

(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会  
那覇市パーソナルサポートセンター  
名嘉 泰

---

# 自立相談支援機関との連携

～届く言葉で伝えること～



---

自立相談支援機関との連携で、相手に伝える（はず）のこと

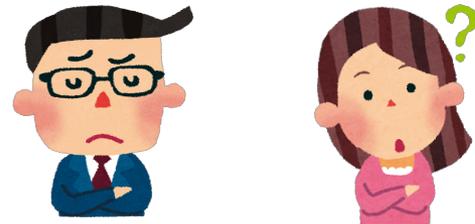
1. 制度の説明
2. 就労準備支援事業の説明
3. 事業のやり方の説明
4. 連携のお願い
5. 募集のお願い

---

## 最初、うまくいかなかったこと

- ⇒「忙しいから」という理由で、ほぼ門前払いだった。
- ⇒「説明に行きたい」と伝えてもそれきり返答がなかった。
- ⇒一通りの説明をして、連携や募集のお願いをして、分かってもらえたつもりにはなっていたんだけど、人が集まらなかった。
- ⇒「うちには準備につなぐような人はいない」と言われた。
- ⇒「本人がのってこない」と言われた。
- ⇒ぜんぜん違う話になった。

⇒どこが悪い？



- 
1. 制度の説明  
⇒相手が知っているかどうかで違う。  
⇒相手が聞きたいかどうかで違う。
  2. 就労準備支援事業の説明  
⇒「事業の側から」の説明ではなくて、  
「どんな人に向いてる」かの説明。
  3. 事業のやり方の説明  
⇒出来上がったものを持っていくこと、要望に合わせて作って  
いくこと、両方に対応できる柔軟性。
  4. 連携のお願い  
⇒誰に、何を、どうやってお願いするのか？
  5. 募集のお願い  
⇒お願いではなく提案。

---

※紙で説明資料を作って相手に見てもらうことは大切だが、紙は独り歩きするので、紙に血肉を持たせるためには繰り返し足を運び、肉声で伝え、相手に当事者になってもらい、自分たちはできるかぎりの協力をすると分かってもらうこと。

※「協力する」にとどまらないで、一緒にやっていくことが相談者にとっての可能性と自立相談支援機関にとっての可能性を広げることにつながると思ってもらうこと。

※就労準備支援事業に携わる側が、制度、事業、機関、機関で働く人、相談者、具体的な手立て、支援のつなぎ先、就労のつなぎ先、などをできるだけ分かっていること。

※できるだけ分かっている、あの手この手でアプローチすること。  
(そのためには、就労準備支援事業に携わる側が、自立相談支援や就労準備支援を含めた幅広い視野を身に着けておくことが必要)

- 
- ※顔を覚えてもらうこと。
  - ※「まずはあの人に相談してみよう」と相手に思ってもらえること。

たとえば、

日常的にいる  
相談者の面談に同席する  
現状やその後をこまめに伝える  
こちらの話もする、相手の困りごととも聞く

相談者のそばにもいる。  
相談員のそばにもいる。

---

結び：

相談支援と同じ

相手に届く言葉で伝えること。



## 沖縄県就労準備支援事業 H29年度実績

沖縄県 就労準備支援事業 (平成29年度)		被 支 援 者 数	プ 加 延 グ ラ ム 参 加 人 数	自立変化者数																
				日常生活自立			社会生活自立			就労生活自立			就労生活自立最終状況							
				合計	%		合計	%		合計	%		就職決定	就労継続支 援A・B	求職活動 再開	就労移行支 援事業利用	地域活動支 援センター	就労訓練 (中間就労)	企業実習 (予定含む)	求職者支援 訓練受講
沖縄県	生活困窮	36	303	30	83.3%	30	83.3%	26	72.2%	12	1	3	2	0	0	1	0	5		
	被保護	48	310	39	81.3%	37	77.1%	21	43.8%	9	2	3	0	1	0	2	0	7		
豊見城市	生活困窮	5	38	3	60.0%	3	60.0%	3	60.0%	2	0	1	0	0	0	0	0	0		
	被保護	13	88	9	69.2%	10	76.9%	4	30.8%	1	1	3	0	0	0	2	0	3		
うるま市	生活困窮	10	62	9	90.0%	8	80.0%	7	70.0%	3	0	2	0	0	0	0	0	2		
	被保護	20	89	14	70.0%	16	80.0%	12	60.0%	4	0	2	0	0	0	0	0	6		
沖縄市	生活困窮	14	80	12	85.7%	12	85.7%	9	64.3%	4	0	2	0	0	0	0	0	3		
合計		146	970	116	79.5%	116	79.5%	82	56.2%	35	4	16	2	1	0	5	0	26		

# 8月 就労準備講習

in うるま市



2018年8月6日(月)～8月17日(金) 全6日間

	8月6日(月) ゆらてく	8月7日(火)	8月8日(水) ゆらてく	8月9日(木)	8月10日(金) ゆらてく
午前	10:00～12:00 オリエンテーション	講習休み (面談日) 希望者のみ	10:00～12:00 事前確かめま表	講習休み (面談日) 希望者のみ	10:00～15:00
休憩					
午後	13:00～15:00 からだとアタマを ほくそう		13:00～15:00 施設見学 ～火力発電所～		
	8月13日(月) ゆらてく	8月14日(火)	8月15日(水) ゆらてく	8月16日(木)	8月17日(金) ゆらてく
午前	10:00～12:00 レク体操	講習休み (面談日) 希望者のみ	講習休み (面談日) 希望者のみ	10:00～12:00 伝達ゲーム	10:00～12:00 協働ゲーム
休憩					
午後	13:00～15:00 美文字に挑戦 うちなークイズ			13:00～15:00 報道相 カードスピーチ	13:00～15:00 個人面談 修了式

※プログラム内容は変更する場合があります。

定員：10名

期間：平成30年8月6日(月)～8月17日(金)(6日間)

場所：うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく  
(うるま市字仲嶺187番地)

主催：沖縄県就職・生活支援  
パーソナルサポートセンター中部  
(〒904-2155 沖縄市美原1-11-3)  
TEL: 098-923-0881 FAX: 098-923-0882

☆弁当付き☆

☆送迎あり☆

(要相談)



担当：喜納・島袋・新垣

スタッフ携帯：090-6859-7339

# 就労準備プログラム 実施例

※いつでも、個別のプログラムを実施しています☆

プログラムカレンダーでの空白欄は…

個人のニーズや  
タイミングに合わせた  
プログラムを行っています！

月	火	水	木	金	土	日
				6/1	2	3
4	5 <b>個別</b> 立て看板ニス塗り	6 (例) シムに行く	7	8 集団プログラム 読谷村文化センター ★カラダとアタマを ほぐそう ★美文字に挑戦 ★うちなークイズ	9	10
11 (例) 就労体験	12 面談	13 集団プログラム うるま市 うるみん ★ホウレンソウ ★カードスピーチ	14	15 (例) 古紙回収	16	17
18 集団プログラム 中城村 吉の浦会館 ★カラダとアタマを ほぐそう ★美文字に挑戦 ★うちなークイズ	19 <b>個別</b> 立て看板ニス塗り	20 (例) パソコン触る	21	22 <b>個別</b> 海で気晴らし	23	24
25 <b>個別</b> フードバンクボランティア	26 面談	27 集団プログラム うるま市 うるみん ★認め合うこと ★協働ゲーム	28	29 <b>個別</b> フードバンクボランティア 古紙回収	30	

## 個別 プログラムによる変化事例

Aさん (25才 男性 障害手帳申請中)

### ■課題

- ・ 集団の中に入ることに対して苦手意識があり。
- ・ 昼夜逆転の生活を送っていた。

### 個別 立て看板のニス塗り

- ・ Youtube でニスの塗り方を検索
- ・ ホームセンターで買出し
- ・ 一緒にニス塗り作業

### 変化、効果、成功体験

- ・ 集団にも入れるようになりたい気持ちが出る。
- ・ 緊張感が軽減。気楽に参加できる。
- ・ 予定を入れることにより、意識して生活リズムを整えることができた。

### ■これから

- ・ 引き続き個別プログラムを活用。自己肯定感を高める。
- ・ 集団プログラムへの参加促し。強み課題のフィードバック。
- ・ 就労継続支援事業所での就労を目指す。

# 個別/集団プログラム 例

## 目的・効果

- ✓ 自己肯定感の向上、不安の軽減
- ✓ 日常生活・社会生活・働くことへの意欲向上
- ✓ 信頼関係構築（本音を話せる関係性作り）
- ✓ 能力の見極め
  - ・作業能力（スピードや工夫）
  - ・理解力／伝える力／協調性  
考える力／集中力
  - ・文字書字能力、読解力
- ✓ 自己理解の促し
  - ・アルコール等依存や疾患の課題
  - ・コミュニケーションの特徴
  - ・自分の感情への気づき

## 個別プログラム

※個人の趣味や興味から社会参加のキッカケを作り、楽しさを通してプログラム参加のハードルを下げる。



魚釣り



メイク練習



ジムに行く



ウォーキング



図書館見学



潮干狩り



パソコン体験



農業体験

## 集団プログラム

※集団の相互作用を利用しながら、社会参加に必要なスキルアップを目指す。

### 体ほぐし/レク体操

遊びの要素を取り入れて、体の可動域や体力面を確認する。

### 事前たしかめ表

簡単な確認表に記入しながら、自分自身の現状を確認する機会を作る。

### 学び直し

字の記入や集中力、言葉の理解力などを確認する。

### 認め合うこと

相手と自分の違いを受け入れ、互いに気持ちよく付き合うためのコミュニケーションを学ぶ。

### こんなときどうする

集団 SST を活用し、日常生活でのコミュニケーションスキルの課題を克服する方法を実践して学ぶ。

### うどん打ち～就労体験～

他者との協働による作業スキルを確認する。作業効率やコミュニケーション能力を見極める。